

自然公園等工事特記仕様書（自然公園編）

I 工事概要

1. 工 事 名：令和 6 年度皇居外苑馬場先作業構台撤去工事
2. 工事場所：東京都千代田区皇居外苑 2
3. 工 期：契約日の翌日から令和 7 年 1 月 31 日まで
4. 工事内容：仮設工 一式、土工 一式、構造物撤去工 一式、移設工 一式、
園路広場整備工（施設復旧工） 一式、運搬処分工 一式

II 適用

1. 本特記仕様書は、「自然公園等工事共通仕様書（自然公園編）」（以下「共通仕様書」という。）でいう特記仕様書で、本工事に適用する。
2. 本工事は、発注者が通期の週休 2 日に取り組むことを指定する週休 2 日促進工事（発注者指定方式）の試行対象工事である。
3. 本工事の施工に係る一般事項は、共通仕様書による。
4. 追加事項が必要な場合には、空欄部分に記載する。
5. 以下の項目は、該当する□欄に「レ」の付いたものを適用する。

III 適用基準等

- ☒ (1) 自然公園等工事共通仕様書（環境省自然環境局自然環境整備課）
- ☒ (2) 土木工事共通仕様書（国土交通省）
- ☒ (3) 自然公園等工事施工管理基準（環境省自然環境局自然環境整備課）
- ☒ (4) 写真管理基準（案）（国土交通省）
- ☒ (5) 工事完成図書の電子納品等要領（国土交通省）

IV .特記事項

1. 地域事項の概要

- ☐ (1) 自然公園法による地域地種区分 ー公園ー地域（地区）
- ☐ (2) 自然公園法による車馬の乗り入れ規制区域
- ☐ (3) 鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律による鳥獣保護区、
特別保護区域
- ☒ (4) 文化財保護法による史跡名称天然記念物
国指定特別史跡 江戸城跡
- ☐ (5) 森林法による保安林
- ☐ (6) 海岸法による海岸保全区域
- ☐ (7) 砂防法による砂防指定地
- ☐ (8) 河川法による河川区域及び河川保全区域

2. 一般共通事項

- ☒ (1) 工事完成図のサイズは（☐A1、☒A3）とする。
- ☒ (2) 工事完成図は CAD で作成し、CAD データの提出は（☒必要、☐不要）とする。
- ☒ (3) 工事写真は、（☒A4 版、☐ 版）の工事写真帳に整理して 1 部提出する提出することとし、写真はカラーでサービスサイズ程度とする。なお、監督職員と協議のうえ電子納品のみとする場合は、この限りではない。
- ☒ (4) 「国等による環境物品等の調達の推進に関する法律」（グリーン購入法）に基づく、環境物品等の調達の推進に関する基本方針（以下「基本方針」という。）（環境省ホームページに掲載（毎年 2 月改正））において位置づけられた、「特定調達品目」の調達の実績（設備及び公共工事）について、当該年度の調達実績集計表（物品・役務及び公共工事）を環境省ホームページからダウンロードのうえ、Excel ファイルで作成し、提出する。
- ☐ (5) 「公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律」に基づき、国立公園等施設への木材利用量について、木材利用実績調査要領により、Excel ファイルで作成し、提出する。

3. 施工条件

(1) 工事全般関係

- ☐ ①各種積算の取組： ☒ ②積算補正：DID(1)ー3
- ☐ ③調査対象工事： ☐ ④余裕工期の設定：

(2) 工程関係

- ☐ ①影響を受ける他の工事
- ☐ ②自然的・社会的条件による制約
- ☒ ③関連機関との協議による制約
 - a.関連機関：文化庁 b.制約内容：国指定特別史跡の現状変更
 - c.成立見込時期：同意取得済み
- ☐ ④占用物件（地下物件、架空線など）・埋蔵文化財等の事前調査・移設
- ☐ ⑤特殊工法に伴う設計工程上の作業不能日数

(3) 用地関係

- ☐ ①用地の取得未了
- ☐ ②保安林解除や用地規制等
- ☐ ③官民境界の未確定部分
- ☒ ④用地の借地及び官有地等の使用

環境省所管地内。

(4) 環境対策関係

☒ ①自然環境及び景観等保全のための制約

a.要因：植栽樹木 b.対象箇所：堤塘

c.制約内容：作業現場である堤塘には植栽木が生育していることから、施工時に極力樹木を傷つけないよう注意すること。

☐ ②公害防止のための制限

☐ ③水替、流入防止施設

☐ ④濁水、湧水等の特別処理

☐ ⑤事業損失懸念

(5) 安全対策関係

☐ ①交通安全施設等の指定

☒ ②交通誘導警備員の配置

a.対象要因：現場及び資機材置き場等への搬出搬入 b.対象箇所：資機材搬出搬入口

c.対象期間：当該工事期間 d.その他

☐ ③対策をとる必要がある他施設との近接工事

☐ ④防護施設等

☐ ⑤保安設備及び保安要員の配置

☐ ⑥発破作業等の制限

☐ ⑦有害ガス及び酸素欠乏等の対策

☐ ⑧高所作業の対策

☐ ⑨砂防工事の安全確保対策

(6) 工事用道路関係

☐ ①一般道路の搬入路使用

☐ ②仮道路の設置

☐ ③工事用道路の使用制限

(7) 仮設備関係

☐ ①他の工事に引き継ぐ場合

☒ ②引き継いで使用する場合

作業構台に設置されているアルミキャストゲート及び一部の仮囲いフラットパネルは、石材を移設するストックヤードを作成する際に再使用する。なお、仮設用マット及び仮囲い基礎用 H 鋼は購入とする。

☐ ③構造及び施工方法の指定

☐ ④設計条件の指定

☐ ⑤除雪

(8) 建設副産物関係

☒ ①建設副産物情報交換システムの活用

監督職員への報告は、当該システムで作成した再生資源利用計画書（実施書）及び再

生資源利用促進計画書（実施書）により行うものとする。

☒ ②建設発生土情報交換システム登録対象

受注者は、発注者が当該システムに登録した情報について、発注後情報の更新を行うものとする。

☐ ③再生資材の活用の明示

☒ ④建設リサイクル法対象工事

- a. 本工事は、特定建設資材を用いた建設物等に係る解体工事又はその施工に特定建設資材を使用する新築工事等であって、その規模が「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（以下「建設リサイクル法」という）施行令又は都道府県が条例で定める建設工事の規模に関する基準以上の工事であるため、建設リサイクル法に基づき分別解体等及び特定建設資材の再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。

b. 分別解体等の方法

工程ごとの作業内容及び解体方法		
工程	作業内容	分別解体等の方法
仮設	仮設工事 ☒ 有 ☐ 無	☐ 手作業、 ☒ 手作業・機械作業の併用
土工	仮設工事 ☒ 有 ☐ 無	☐ 手作業、 ☒ 手作業・機械作業の併用
基礎	仮設工事 ☐ 有 ☐ 無	☐ 手作業、 ☐ 手作業・機械作業の併用
本体構造	仮設工事 ☐ 有 ☐ 無	☐ 手作業、 ☐ 手作業・機械作業の併用
本体付属品	仮設工事 ☐ 有 ☐ 無	☐ 手作業、 ☐ 手作業・機械作業の併用
その他（ ）	仮設工事 ☐ 有 ☐ 無	☐ 手作業、 ☐ 手作業・機械作業の併用

c. 特定建設資材廃棄物の搬出

再資源化等をする施設の名称及び所在地		
特定建設資材廃棄物の種類	施設の名称	所在地
コンクリート塊		
アスファルト・コンクリート塊		
建設発生木材		

- d. 受注者は、特定建設資材の分別解体・再資源化等が完了したときは、建設リサイクル法第 18 条に基づき、以下の事項を書面に記載し、監督職員に報告することとする。

- ・再資源化等が完了した年月日
- ・再資源化等をした施設の名称及び所在地
- ・再資源化等に要した費用

☒ ⑤建設発生土の受入地への搬出

下記の(株)建設資源広域利用センター(UCR)受入地へ搬出すること。ただし、土壌試験結果によって受入れ不可となった場合は、監督職員と協議のうえ変更契約する。また、施工前に余裕をもって UCR 担当者と事前調整を行い、受入地、必要書類及び土壌試験方法の詳細を確認し、書類作成及び土壌試験、搬入手続きを行うこと。

a 受入地名称：秋ヶ瀬ヤード

b 所在地：さいたま市桜区下大久保地先（緯度経度：35.854910,139.594205）

c 事業担当機関：国土交通省荒川調節池工事事務所

d 受入単価：450[円/地山 m³]（税抜き）

e 想定搬出土量：1,168m³

f 試験項目：地質分析（溶出試験：28 項目、含有試験：9 項目）、ダイオキシン、土質試験（9 項目）

※土質 pH 試験は地盤耕学会指定の試験（JGS 0211）による。

※土質試験の「突固めによる土の締固め試験（JIS A 1210）」は「乾燥法・モールド径 10cm・ランマ 25N」、「土の粒度試験（JIS A 1204）」は「砂・砂質土 試料 4kg 以上」として積算しているが、具体的な方法は試験機関の判断によることから、実績の試験内容に合わせて変更契約する。

※その他、試験機関等の指示により試験内容に変更が生じた場合は、変更契約の対象とする。

搬入申込みのフロー及び具体的な試験項目については、UCR 受地利用案内(2024 年度)を参照すること。

https://www.ucr.co.jp/out/downloads/2024/20240601/2024_riyouannai.pdf

☐ ⑥建設発生土の他工事への搬出

☐ ⑦他工事からの建設発生土利用

☐ ⑧土壌汚染対策法の届出

(9) 工事支障物件関係

☐ ①占用物件等の工事支障物件

(10) 薬液注入関係

☐ ①薬液注入

(11) 現場環境改善費

☐ ①率計上内容：

☐ ②積上計上内容：

(12) その他

☐ ①工事用資機材の保管及び仮置き（製作工事及び他工事との工程調整等）

☒ ②工事現場発生品

a アルミキャスターゲート：H2.0m×W9.0m×1 基

b 仮囲いフラットパネル（単管パイプ及びクランプを含む）：H3.0m、L 計 21.0m

☒ ③支給品・貸与品

- a.品名・数量：(復旧施設資材) 自然石縁石 (9.0m)、ベンチ (1 基)、柵 (27.4m) 、
b.規格等：柵 H=1.55m、
c.使用場所：作業構台撤去跡地 (図面のとおり)、 d.積算条件：設計書のとおり
e.引き渡し場所：対象作業構台上、 f.返済方法等：一、g.その他：一

☒ ④新技術・新工法・特許工法の指定

- a.品名：W ボード
b.登録番号等：CG-150003-VE (NETIS 登録番号)
c.使用場所：ストックヤードの大型土のう敷板として使用する。

☐ ⑤指定部分の引き渡し

☐ ⑥部分使用

☐ ⑦給水

☒ ⑧現場事務所・現場休憩所等 (テントを含む) の設置

☒ 可 設置条件：詳細は監督職員との協議による。

☐ 不可 想定休憩場所等：

☐ ⑨監督職員事務所の設置

☒ ⑩工事用水及び工事用電力の構内既存設備

- a.工事用水：☒利用できる (☐有償、☒無償)、☐利用できない
b.工事用電力：☐利用できる (☐有償、☐無償)、☒利用できない

☒ ⑪資材置場や作業場等

- a.場所：皇居外苑馬場先地区、 b.期間：当該工事期間
c.制限内容：仮設計画承認願いを提出し、監督職員の承認を得ること。 d.その他：作業
ヤードの位置及び規模等については、監督職員と協議のうえ変更することができる。

4. 土工

☒ (1) 土砂のダンプトラック運搬に関しては、必ずシート掛けを行う。

☒ (2) 土砂を仮置きする場合は、降雨等により周辺の植生帯に流失し、植物に影響を及ぼすことのないように、シート掛け等の適切な対策を講じる。

☐ (3) 植生保護及び土壌の固結防止を図るため、以下に場所においては重機等の出入りは避ける。

(☐図示：、☐ 監督職員の指示による)

☒ (4) 土工における運搬および敷均し等については、含水比の高い状態で作業を行ってはない。

☐ (5) 搬入する土砂は、地域生態系保全の観点から、以下の条件のものとする。

(条件：)

☐ (1) 鉄筋の種類は下記による。

鉄筋名称	種類	径(mm)	適用箇所

- ☐ (4) 鉄筋コンクリートの設計強度は下記による。

設計基準強度 $F_c(N/mm^2)$	スランプ°	適用箇所

- ☐ (5) 無筋コンクリートの設計強度は下記による。

設計基準強度 $F_c(N/mm^2)$	スランプ	適用箇所

- ☒ (6) セメントの種類は下記による。

種類	適用箇所

- ## 6. 材料

- ☒ (1) 以下の工事材料は、見本又は品質を証明する資料について、工事材料を使用するまでに監督職員に提出し、確認を受ける。
- (☒ JIS マーク表示品以外全て、☐)
- ☐ (2) 植栽材料については、納入前後どちらかで材料検査をする。また、監督職員の指示があった場合は、納入樹木の根巻きを一部取り外す等により根の状況を確認し、承諾を得ること。
- ☐ (3) 樹木の形状寸法は最小限度を示し、工事完成時点のものを言うが、その許容上限は監督職員と協議のうえ決定する。

- ☐ (4) 木材の加圧保存処理は、JIS A 9002「木質材料の加圧式保存処理方法」に準拠すること。また、使用薬剤等については以下のとおりとする。
- ①薬剤指定：☐有（ ）、☐無（条件： ）
- ②性能区分：☐ JAS： 、☐ AQ：
- ☐ (5) 木材のインサイジング加工は、製材の日本農林規格による。また、インサイジング機は、一般社団法人全国木材検査・研究協会において認定された機種を使用する。
- ☐ (6) 木材の加圧処理材を現場において切断等の加工を行う場合は、加工した部分に表面処理用木材保存剤（(公)日本木材保存協会(JWPA)認定薬剤）で野外での使用が可能な薬品）を塗布する。
- ☐ (7) 木材の仕上げは、図面に記載のない限り、角材はプレーナー仕上げ及び丸太は円柱仕上げを標準とする。
- ☐ (8) 木材の端部及び角部は図面に記載のない限り面取りを施すこととし、面取り幅等については監督職員と協議する。
- ☐ (9) 木材の背割り加工は、材の厚みの（☐ 1/2、☐ ）とする。
- ☐ (10) 工事現場搬入時における木材の含水率を指定する場合は、同一試験試料から採取した試験片の含水率の平均値が以下の数値以下とする。
- （☐ 人工乾燥処理： %、☐ 天然乾燥処理： %）

7. 工事共通

(1) 構造物撤去工

- ☒ ① 舗装切断作業により生じる汚濁水は、吸引により回収のうえ、公園区域外に搬出し適正に処理する。

(2) 仮設工

- ☒ ① 交通誘導警備員を配置する場合、各公安委員会が必要と認める路線・区間及び設計図書に記載のあった場合は、規制箇所毎に交通誘導警備検定合格者（1級又は2級）1名以上配置するものとする。また、請負者は、交通誘導警備検定合格証の写しを監督職員に提出するものとする。

(3) 運搬工

- ☐ ① ヘリコプター運搬については、着手前に「ヘリコプターによる輸送業務の安全管理要領（自然環境整備担当参事官通知、平成 22 年 10 月 8 日）に基づき、輸送計画書（飛行計画及び安全管理計画等）を監督職員へ提出すること。
- ☐ ② ヘリコプター運搬の想定条件は、以下のものとする。

8. 基盤整備

- ☐ (1) 石積工の練積において、目地モルタルの施工は深目地とする。

9. 植栽

- ☐ (1) 植栽後に、防寒・対乾燥養生等が必要となった場合は、監督職員と協議する。
- ☐ (2) 支柱丸太の防腐処理は以下のとおりとする。
 - ①防腐処理：☐有・☐無
 - ②防腐処理方法：
- ☐ (3) 張芝部の客土（床土・目土）は、以下の条件のものとする。
 - ①客土材：

10. 施設整備

- ☐ (1) 石材・平板・レンガ・タイル等を材料とする以下の舗装については、設計図に基づいて割り付け図を作成し（伸縮目地を含む）、監督職員の承諾を得る。
 - ①舗装種類：
- ☐ (2) 以下の舗装については、試験施工を行い監督職員の承諾を得なければならない。
 - ①舗装種類：
- ☐ (3) コンクリート構造物の端部及び角部は、図面に記載のない限り面取りを施すこととし、面取り幅等については監督職員と協議する。
- ☒ (4) 施設の設置にあたり、詳細位置等について監督職員の立ち会いにより決定するものは、以下のとおりとする。
 - ①施設種類：必要に応じて指示

☒ 11. 週休2日制試行対象工事

- 1)本工事は、建設工事における週休2日制（通期）の試行対象工事である。
- 2)週休2日の考え方
 - i)「通期の週休2日」とは、対象期間において、4週8休以上の現場閉所を行ったと認められる状態をいう。
 - ii)③「対象期間」とは、工事着手日から工事完成日までの期間をいう。なお、年末年始休暇6日間、夏季休暇3日間、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間のほか、発注者があらかじめ対象外とした内容に該当する期間、受注者の責によらず現場作業を余儀なくされる期間等は含まない。
 - iii)④「現場閉所」とは、巡回パトロールや保守点検等を除き、現場事務所での作業を含めて1日を通して現場が閉所された状態をいう。
 - iv)通期の4週8休とは、対象期間内の現場閉所率が、28.5%（8日／28日）の水準の状態をいう。
なお、降雨、降雪等による予定外の現場閉所日についても、現場閉所日数に含めるものとする。
- 3)総合工事工程表の作成

受注者は、発注時の設計図書や発注者から明示される事項を踏まえ、総合工程表を作成する。

総合工事工程表を作成するに当たっては、当該工事の規模及び難易度、地域の実情、自然条件、工事内容、施工条件等のほか、建設工事に従事する者の週休2日の確保等、下記の条件を適切に考慮する。

- i) 建設工事に従事する者の休日（週休2日に加え、祝日、年末年始及び夏季休暇）の確保
- ii) 建設業者が施工に先立って行う労務・資機材の調達、調査・測量、現場事務所の設置等の「施工準備期間」
- iii) 施工終了後の自主検査、後片付け、清掃等の「後片付け期間」
- iv) 降雨日、降雪・出水期等の作業不能日数

4) 現場閉所の達成状況及び精査

現場閉所の達成状況が通期の4週8休に満たない場合は、請負代金額のうち補正分（労務費：1.02、機械経費（賃料）：1.02、共通仮設費率：1.02、現場管理費率：1.02）を減額して請負代金額の変更を行うものとする。

また、提出された工程表が月単位の週休2日又は通期の週休2日の取得を前提としていないなど、明らかに受注者側に月単位の週休2日又は通期の週休2日に取り組む姿勢が見られなかった場合については、必要に応じ、工事成績評定実施要領に基づく点数を減ずる措置を行うものとする。

13. その他

- ☒ (1) 史跡における工事であることから、千代田区もしくは文化庁担当者が立会いを希望した場合は対応すること。
- ☒ (2) 施工箇所周辺及び運搬路は来苑者の利用箇所と重複することから、事故等が発生しないよう注意すること。
- ☒ (3) 作業構台撤去跡地に設置する植栽シートは環境配慮型とし、景観及び生物への影響を考慮して選定するとともに、監督職員と協議のうえ使用する製品を決定すること。
- ☒ (4) 施工に当たっては、皇居外苑工事作業心得を遵守すること。

皇居外苑工事作業心得

環境省皇居外苑管理事務所

環境省皇居外苑管理事務所北の丸分室

第 1 条（目的）

本心得は、皇居外苑内において実施する工事について、工事請負者等を対象に遵守すべき事項を定め、その徹底を図ることにより、安全で快適な公園利用と円滑な工事の推進を図ることを目的とする。

第 2 条（工事請負者の職員及び作業員の義務）

1. 苑内では、皇居外苑管理事務所より貸与された腕章を常時着用するものとする。
2. 休憩時間は、皇居外苑管理事務所が指定する場所を使用するものとする。
3. 来苑者に不快感を与える服装及び、妄りな行動は慎むものとする。
4. 喫煙は指定場所のみで行うこと。
5. 来苑者とのトラブルは絶対に起こしてはならない。万一生じた場合は、直ちに皇居外苑管理事務所に報告するものとする。

第 3 条（車輛等の使用）

1. 車輛等には、皇居外苑管理事務所が貸与する駐車証又は通行証を車輛等の外部から一目で確認できる場所に常時掲出するものとする。
2. 貸与された駐車証はその都度、又、通行証は、工事完了後速やかに皇居外苑管理事務所に返却するものとする。
3. 苑内では時速 15 km/時以下で走行するものとし、来苑者等の安全確保には十分留意すること。
4. 警笛については、緊急かつ、やむを得ない場合を除き鳴らさないこと。
5. 苑路以外の場所に進入してはならない。やむを得ず進入する必要がある場合は、事前に皇居外苑管理事務所に申し出し、指示を得るものとする。また、歩行者用苑路や砂利内に設置のあるバリアフリー路は極力、走行を避けること。
6. 車両の駐車は指定された場所以外では行わないこと。やむを得ず指定場所以外に駐車しなければならない場合は、その都度皇居外苑管理事務所の指示を得るものとする。
7. 駐車中は作業の動力として使用する等やむを得ない場合を除き、エンジンを停止するものとする。

第 4 条（作業時間）

1. 作業時間は原則として「8 時 30 分から 17 時」までとし、この時間外の作業を行う場合は事前に皇居外苑管理事務所の承諾を得ること。

第 5 条（土日及び祝日等の作業）

1. 休日に作業を行う場合は、事前に皇居外苑管理事務所に報告し、承諾を得ること。

第 6 条（現場の安全管理）

1. 工事現場は原則として、保安柵又はシート等で囲みその中で作業を行うものとする。
2. 請負者は、来苑者が工事現場に立入らぬよう注意看板等の措置を講じるものとする。
3. 工事資材置場は皇居外苑管理事務所の指定する場所を使用すること。又、四散したり、盗難にあわぬよう必要な措置を講じること。
4. 工事現場における火気の使用は、工事目的に直接使用する場合に限るものとし、目的以外に使用する場合は、事前に皇居外苑管理事務所の許可を受けその指示に従うものとする。
5. 工事現場及びその付近は、常に整理整頓を心がけること。
6. 工事現場において万一事故が発生した場合は、速やかに皇居外苑管理事務所に報告するものとする。

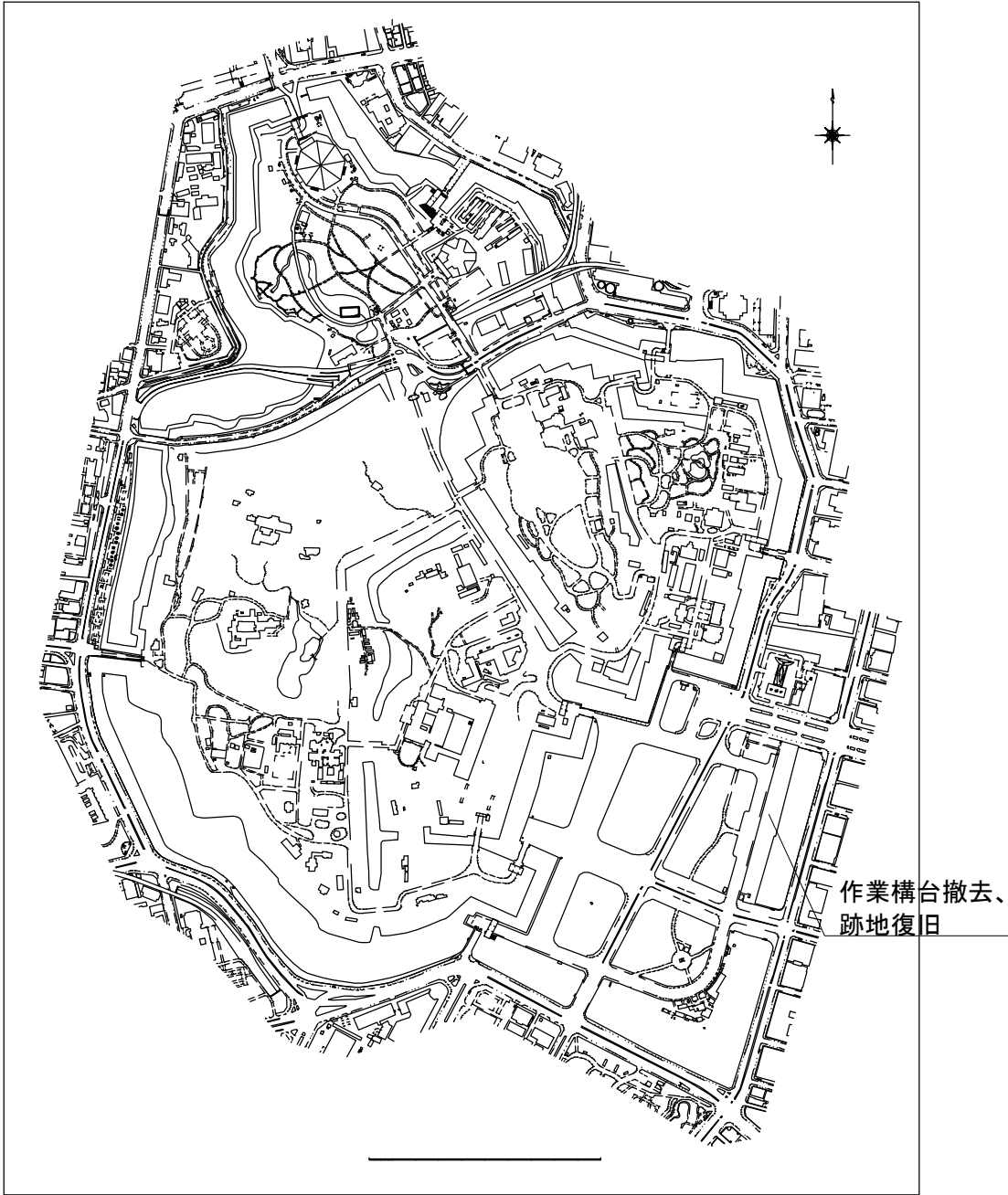
第 7 条（発生材）

1. 苑内工事による発生材は、リサイクル処分を原則とする。
2. 苑内工事による発生材は、原則、当日中に苑外へ処分する。苑外への搬出ができない場合には、事前に承諾を得るものとする。
3. 庭園維持管理作業（除草、剪定など）において枝葉類が濠に落ちた場合には、速やかに網やボートを使用して丁寧に拾うこと。
4. 業務外のゴミであっても苑内で目立つゴミについては、拾うこと。これらのゴミについては事務所に引き取る。

第 8 条（請負者の責務）

1. 工事現場において万一事故が発生した場合は、速やかに皇居外苑管理事務所に報告するものとする。
2. 請負者は上記事項について、工事に従事する職員及び作業員全員に周知徹底させるものとする。

令和6年度皇居外苑馬場先作業構台撤去工事

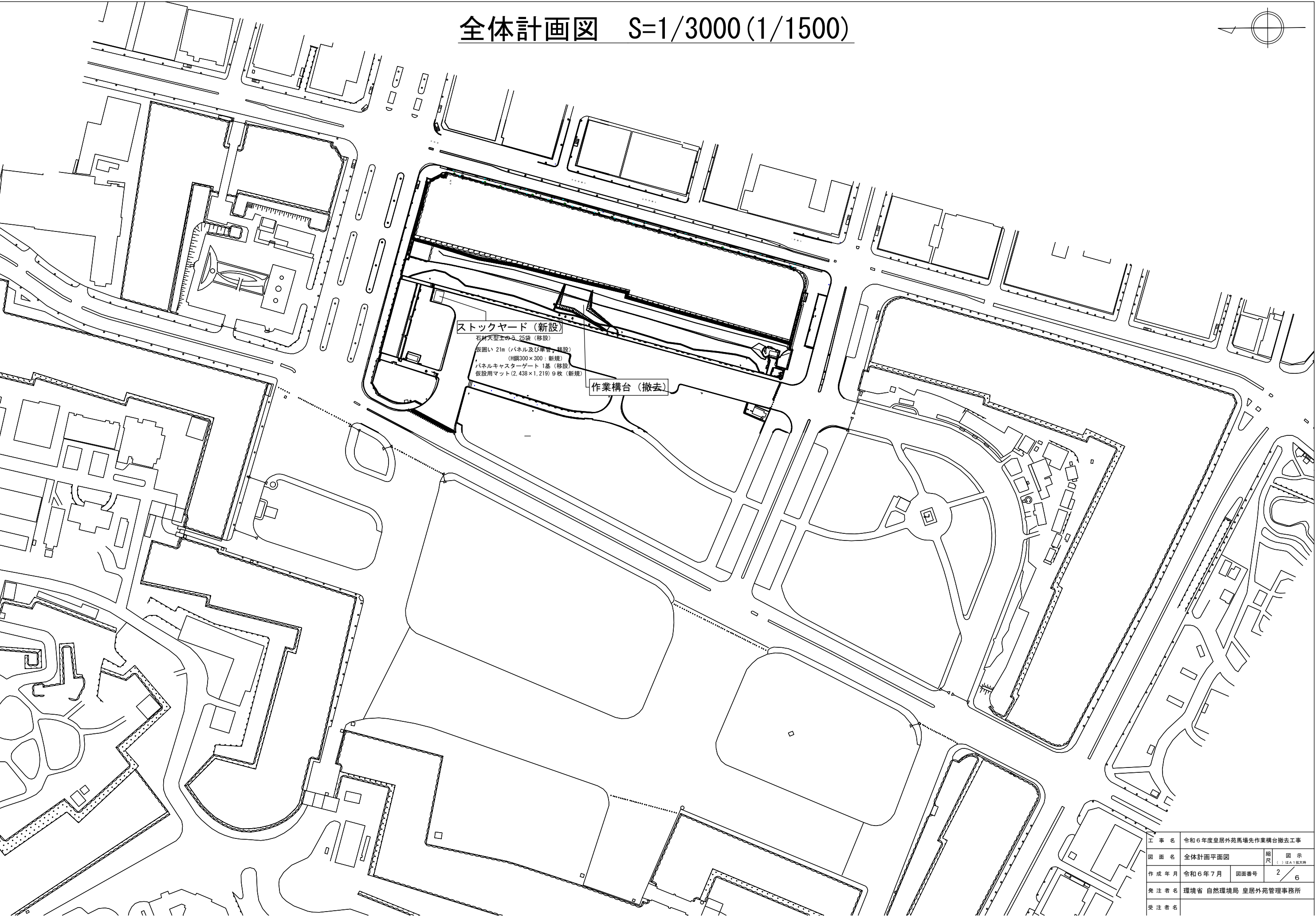


図面一覧	
図番	目次
1	表紙
2	全体計画平面図
3	作業構台撤去平面図
4	作業構台跡復旧平面図
5	作業構台跡復旧構造図
6	作業ヤード計画平面図

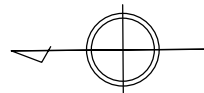
令和6年7月

環境省 自然環境局 皇居外苑管理事務所

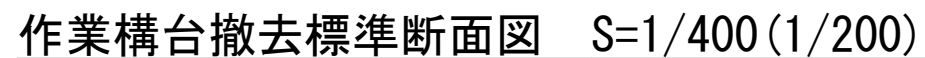
工事名	令和6年度皇居外苑馬場先作業構台撤去工事		
図面名	表紙	縮尺	
作成年月	令和6年7月	図面番号	1 / 6
発注者名	環境省 自然環境局 皇居外苑管理事務所		
受注者名			



全体計画図 S=1/3000 (1/1500)

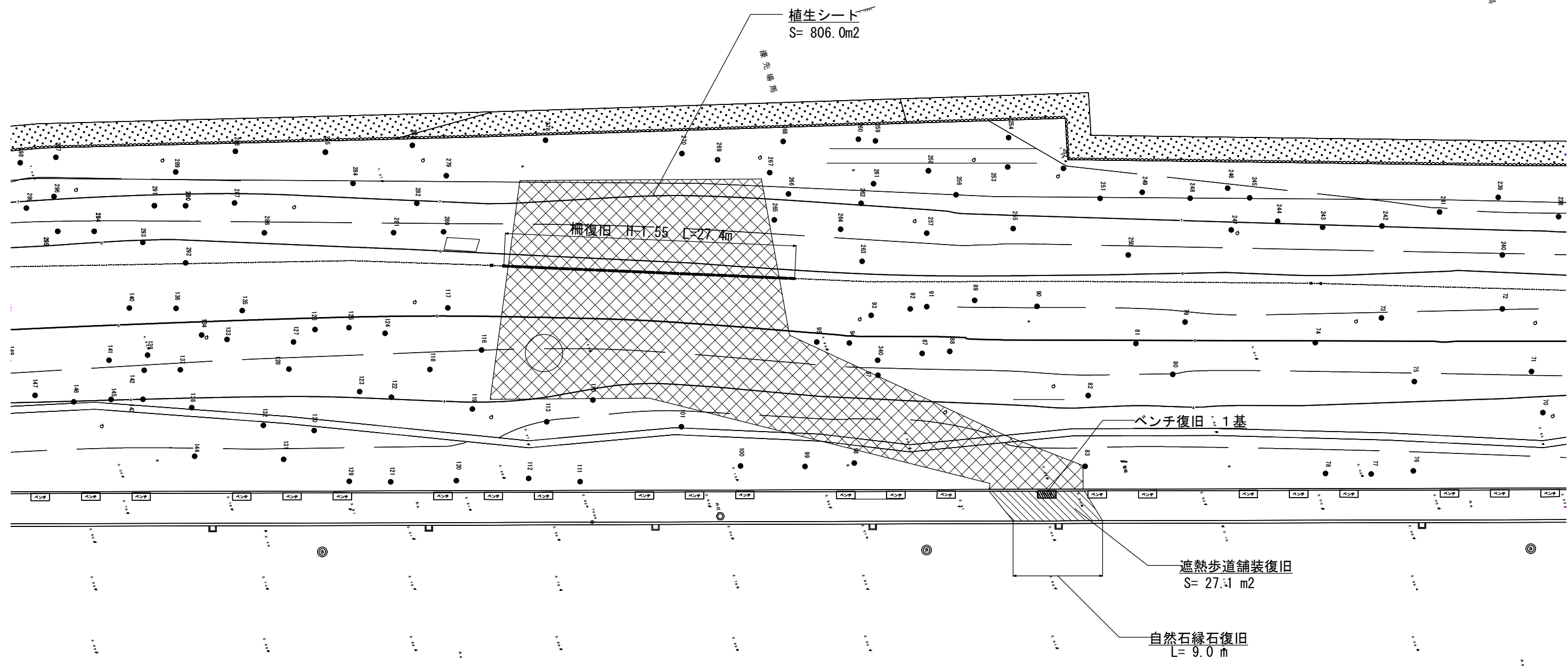
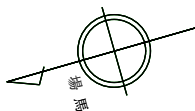


工 事 名	令和6年度皇居外苑馬場先作業構台撤去工事		
図 面 名	全体計画平面図	縮 尺	図 示
作 成 年 月	令和6年7月	図面番号	2 / 6
発 注 者 名	環境省 自然環境局 皇居外苑管理事務所		
受 注 者 名			



工 事 名	令和6年度皇居外苑馬場先作業構台撤去工事		
図 面 名	作業構台撤去平面図	縮尺	図 示 () 1/2 A 拡大時
作 成 年 月	令和6年7月	図面番号	3 / 6
発 注 者 名	環境省 自然環境局 皇居外苑管理事務所		
受 注 者 名			

作業構台跡復旧平面図 S=1/400(1/200)

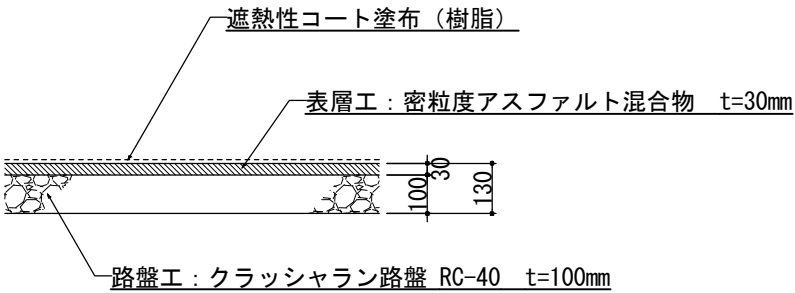


数量表				
名 称	規 格	単位	数 量	備 考
遮熱歩道舗装復旧	遮熱コート・As30・RC40 100	m2	27.0	
自然石縁石復旧	縁石再利用	m	9.0	支給品
ベンチ復旧	ベンチ再利用	基	1.0	支給品
柵復旧	H=1.55	m	27.4	支給品
植生シート	環境品、種子なし、肥料なし	m2	806.0	

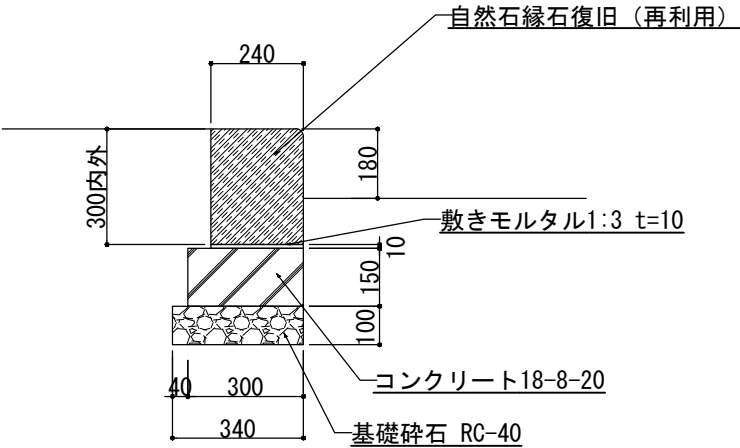
工 事 名	令和6年度皇居外苑馬場先作業構台撤去工事		
図 面 名	作業構台跡復旧平面図	縮 尺	図 示
作 成 年 月	令和6年7月	図面番号	4 / 6
発 注 者 名	環境省 自然環境局 皇居外苑管理事務所		
受 注 者 名			

作業構台跡復旧構造図

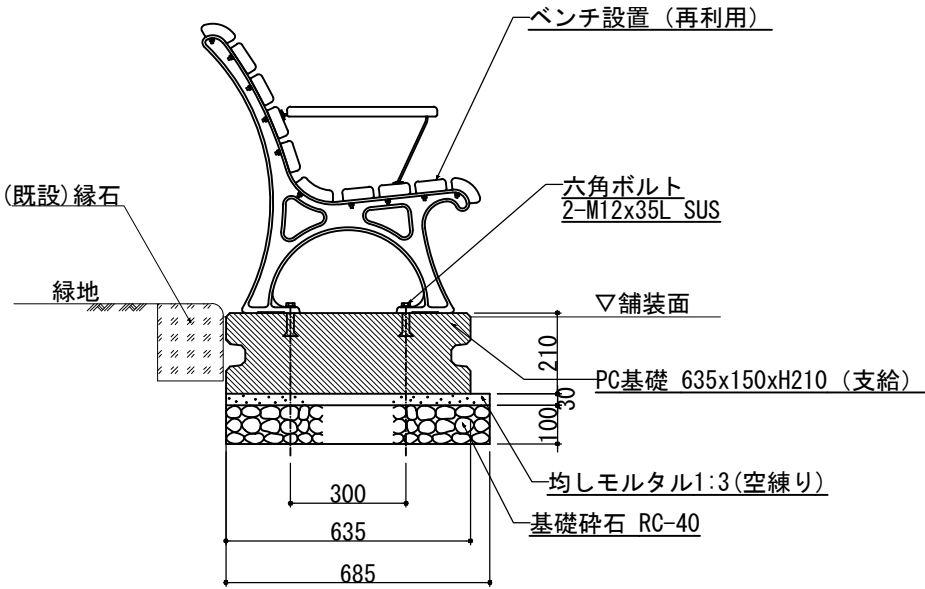
歩道舗装復旧 S=1：20（S=1:10）



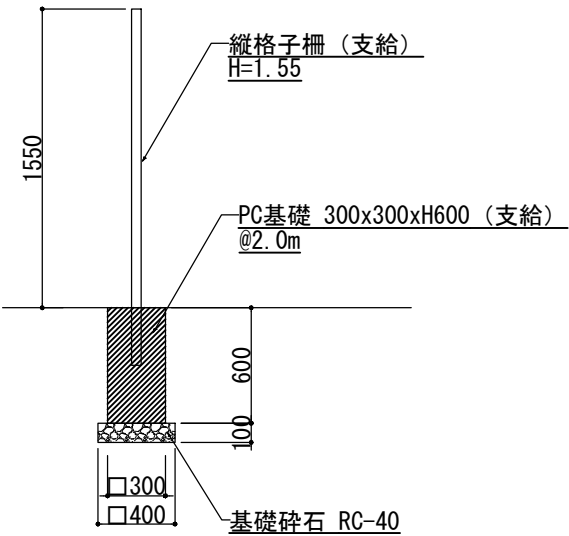
自然石縁石復旧 S=1：20（S=1:10）



ベンチ復旧 S=1：20（S=1:10）

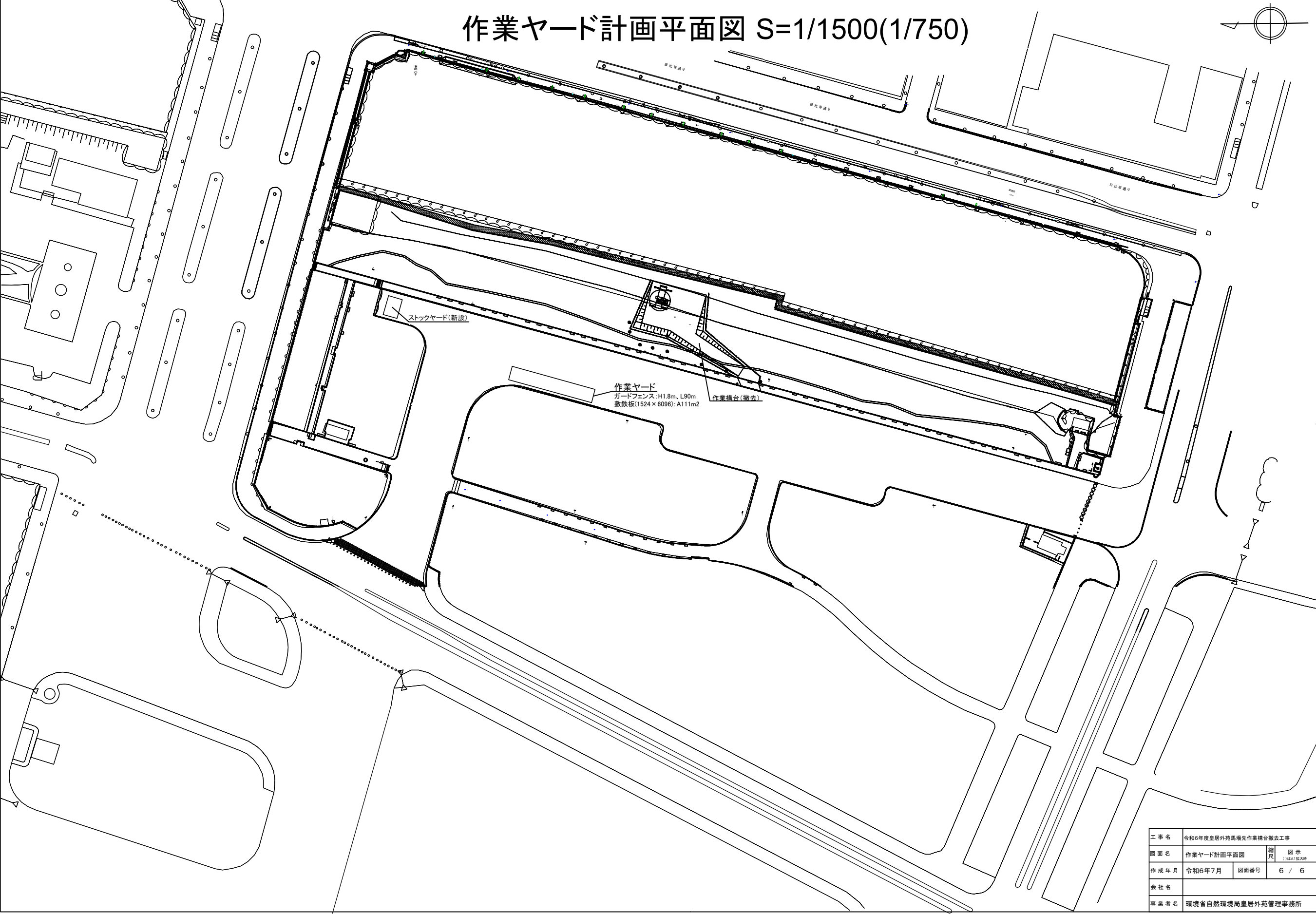
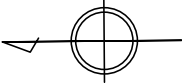


柵復旧 S=1：40（S=1:20）



工事名称	令和6年度皇居外苑馬場先作業構台撤去工事		
図面名称	作業構台跡復旧構造図	縮尺	図示 ()はA1図大時
竣工年月	令和6年7月	図面番号	5 / 6
発注者名	環境省自然環境局皇居外苑管理事務所		
受注者名			

作業ヤード計画平面図 S=1/1500(1/750)



工事名	令和6年度皇居外苑馬場先作業橋台撤去工事		
図面名	作業ヤード計画平面図	縮尺	図示 (1/25A15拡大時)
作成年月	令和6年7月	図面番号	6 / 6
会社名			
事業者名	環境省自然環境局皇居外苑管理事務所		

工 事 名 称 令和6年度皇居外苑馬場先作業構台撤去工事

工 事 総 括 表

工 事 番 号			
工 事 名	令和6年度皇居外苑馬場先作業構台撤去工事		
工 事 場 所	東京都千代田区皇居外苑2		
	工 期 日 数	工 事 自	工 期 至
工 期	日 間		2025年01月31日
	実 施	変 更	
工 事 価 格	円	円	
消 費 税 相 当 額	円	円	
工 事 費	円	円	
	工 事 概 要		
実 施 設 計 概 要			
変 更 設 計 概 要			

経費計算条件

項 目 名 称	選 択 内 容	摘 要
工種区分	公園工事	
施工地域区分	市街地（DID補正）（1）－3	
「復興係数」による間接工事費の補正	補正しない	
週休2日実施の補正	補正する（通期）	
ICT活用による間接工事費の補正	補正しない	
緊急工事の補正	補正しない	
積雪寒冷地域補正	補正しない	
熱中症対策に係る費用の補正	補正しない	
現場環境改善費の計上	計上しない	
前払金支出割合区分	35%を超え 40%以下（1.00）	
契約保証補正の有無	金銭的保証を必要とする（0.04）	
契約保証費の別途計上	一般管理費に含める	
除雪工事の補正	補正しない	
技術者間接費（電気設備工事）補正	補正しない	
工事価格の端数処理	万円まるめ（一般管理費から減額する）	

[illegible]

経費計算書

名 称	数 量	単 位	経 費 率	金 額	摘 要
直接工事費		式			
	1				
共通仮設費		式			
	1				
共通仮設費		式			
	1				
運搬費		式			
	1				
共通仮設費（率計上）		式			
	1				
純工事費		式			
	1				
現場管理費		式			
	1				
工事原価		式			
	1				
一般管理費等		式			
	1				
業務委託料		式			
	1				
工事価格		式			
	1				
消費税相当額		式			
	1				
工事費計		式			
	1				

設計内訳書

工事名	令和6年度皇居外苑馬場先作業構台撤去工事					事業区分			
						工事区分	公園工事		
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要	
仮設工		式	1						
土工		式	1						
構造物撤去工		式	1						
移設工		式	1						
園路広場整備工		式	1						
運搬処分工		式	1						
直接工事費計		式	1						
共通仮設費		式	1						
共通仮設費		式	1						
仮設材等(鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等)の運搬	条件から算出 53.7km 12m以内 0 輸送費のみ 無	t	42						
仮設材等の積込み, 取卸し費	積込み、取卸し(往復分)	t	42						
共通仮設費(率計上)		式	1						

設計内訳書

工事名	令和6年度皇居外苑馬場先作業構台撤去工事					事業区分			
						工事区分			
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
純工事費			式	1					
現場管理費			式	1					
工事原価			式	1					
一般管理費等			式	1					
鉄スクラップ		ヘビー H2	t	-4.1					
工事価格			式	1					
消費税相当額			式	1					
工事費計			式	1					

1 式 当たり内訳書

敷鉄板
第 1号内訳書

単価使用年月	令和6年7月
歩掛適用年月	令和6年7月
労務調整係数	

[illegible]

1

交通誘導警備員

第 2号内訳書

单価使用年月

令和6年7月

步掛適用年月

令和6年7月

勞務調整係數

[illegible]

1 式 当たり内訳書

仮設工
第 3号内訳書

単価使用年月	令和6年7月
歩掛適用年月	令和6年7月
労務調整係数	

[illegible]

1 式 当たり内訳書

構造物撤去工
第 4号内訳書

単価使用年月	令和6年7月
歩掛適用年月	令和6年7月
労務調整係数	

[illegible]

1 式 当たり内訳書

園路広場整備工
第 5号内訳書

単価使用年月	令和6年7月
歩掛適用年月	令和6年7月
労務調整係数	

[illegible]

1 式 当たり内訳書

運搬処分工
第 6号内訳書

単価使用年月	令和6年7月
歩掛適用年月	令和6年7月
労務調整係数	

名称	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
中間処理受託料金	廃プラスチック類 平均【東京都】	m3	58					
収集・運搬受託料金(建設系廃棄物)	4tダンプ車 片道距離概ね25km 平均【東京都】	1回	5					
中間処理受託料金	その他がれき類 平均【東京都】	m3	3.8					
収集・運搬受託料金(がれき類)	10t平ダンプ車 片道距離概ね25km 平均【東京都】	1回	1					
処分受入れ	土砂	m3	1,168					
土砂等運搬	標準 バックホウ山積1.4m3(平積1.0m3) 土砂(岩塊・玉石混り土含む) 有り 33.0km以下	m3	1,168					
残土試験費		式	1					
中間処理受入料金調査結果	アスファルト塊 40cm以下 平均【東京都】	t	6.8					
収集・運搬費調査結果(建設廃棄物)	4tダンプ車 片道距離概ね25km 平均【東京都】	1回	3					
処分受入れ	草本	kg	450					
運搬費 2t車まで 20kmまで	草本	回	1					
	合計							

1 式 当たり内訳書

残土試験費
第 7号内訳書

単価使用年月	令和6年7月
歩掛適用年月	令和6年7月
労務調整係数	

名称	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
発生土有害物質試験	(株)建設資材広域利用センターUCR(E)	セット	1					
ダイオキシン類(含有試験)		検体	1					
土粒子の密度試験	3個／試料	試料	1					
土の含水比試験	3個／試料	試料	1					
土の粒度試験	砂・砂質土 試料4kg以上	試料	1					
土の突固め試験(乾燥法)	モールド径10cm ランマ25N	試料	1					
地質調査 室内土質試験	締固めた土のコン指数試験 4供試体/試料 材工共	試料	1					
地質調査 室内土質試験	土懸濁液のpH試験 ガラス電極法 材工共	試料	1					
土の液性限界試験	6点／試料	試料	1					
土の塑性限界試験	3個／試料	試料	1					
土の湿潤密度試験	A法(ノギス法) 3個／試料	試料	1					
	合計							

1 式 当たり内訳書

移設工
第 8号内訳書

単価使用年月	令和6年7月
歩掛適用年月	令和6年7月
労務調整係数	

名称	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
人力積込	硬岩	m3	25					
耐候性大型土のう(2.0t用)	φ110(丸型)×高110cm 長期仮設(3年)対応	枚	25					
大型土のう工	設置 6m以下 超低騒音型・排出ガス対策型(第3次基準値)	袋	25					
現場発生品及び支給品運搬	トラック[クレーン装置付]ヘーストラック2t級、吊能力2.9t 有り 1.5km以下	t	55.8					
現場発生品及び支給品積込み・荷卸し	トラック[クレーン装置付]ヘーストラック2t級、吊能力2.9t	t	1					
仮設用マット	Wボート 山型/フラット ウッドプラスチック製 長2438mm 幅1219mm 厚15mm 質量39kg/枚 ウッドプラスチックテクノロジー	枚	9					
仮囲いパネル設置	フラットパネル(現場発生品)	式	1					
仮囲い基礎	H形鋼 SS400 広幅 300×300×10×15mm 単質:93.0kg/m	式	1					
	合計							

1 式 当たり内訳書

土工
第 9号内訳書

単価使用年月	令和6年7月
歩掛適用年月	令和6年7月
労務調整係数	

[illegible]

1 式 当たり内訳書

作業ヤード
第 10号内訳書

単価使用年月	令和6年7月
歩掛適用年月	令和6年7月
労務調整係数	

[illegible]